

年齢層別の金融教育内容

(注) 本表に示された各発達段階ごとの教育内容は学習指導要領に示された内容と必ずしも一致しないものがあることに留意いただきたい。

目 標	小学生		
	低学年	中学年	
生活設計・家計管理に関する分野 資金管理と意思決定	<ul style="list-style-type: none"> ○お金の価値を知り、ものやお金を大切にすること ○予算の範囲内でものを買うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ○欲しいものと必要なものの区別ができる ○資源の有限性、希少性を理解する ○年齢相応の金銭管理をする 	
貯蓄の意義と資産運用	<ul style="list-style-type: none"> ○こづかいやお年玉を貯めてみる 	<ul style="list-style-type: none"> ○貯蓄の意義を理解し、計画的に貯蓄する習慣を身につける ○粘り強くやり遂げる態度を身につける 	
生活設計	<ul style="list-style-type: none"> ○こづかいの使い方を通して計画的に買い物をすることの必要性に気づく 	<ul style="list-style-type: none"> ○こづかい帳をつける 	
経済や金融のしくみに関する分野	お金のはたらき	<ul style="list-style-type: none"> ○ものやサービスを購入するとき、お金を払う必要があることを理解する ○硬貨や紙幣を識別できる 	<ul style="list-style-type: none"> ○お金は貯めて将来使えることを理解する ○銀行や郵便局に貯金し、利息について理解する
	経済把握	<ul style="list-style-type: none"> ○ものやお金の流れと家計、企業、政府等の役割について理解する ○市場の働きや機能を知り、市場経済の意義を理解する ○産業の発展と海外経済との関係について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の生産活動を調査し、ものやお金がどう動いているのかを理解する ○ものの値段がどのように決まるのかを理解する ○会社のはたらきや役割を理解する
	経済変動と	<ul style="list-style-type: none"> ○景気の変動と物価、金利、株価等の関係を理解する ○中央銀行や政府の経済政策について理解する ○景気変動や経済政策が自分の暮らしとどう関係しているかを理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の暮らしや地域の生産活動と景気変動の関係に気づく
	と政府の役割	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設などの利用にはお金が必要であることに気づく 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会を支えている様々な公共活動とそれに必要なお金について理解する

別表 2

	小学生 高学年	中学生	高校生
	<ul style="list-style-type: none"> ○必要性を考えて、計画を立て、それに沿って買い物ができる ○商品の選び方を知り、工夫して買い物ができる ○友だちの考えを知った上で、自分なりの考え方をもち、意思決定する態度を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ○家計の収入・支出について理解を深める ○自分に必要なものやサービスの適切な選択・購入および使用ができる ○実践的な収支管理(修学旅行等)を行う ○人には様々な価値観があることをお金の使い方を通じて理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○長期的な資金管理の大切さを理解する ○実践的な収支管理を行う(学校行事等) ○進路選択などを通じて意思決定の重要性を理解する
	<ul style="list-style-type: none"> ○将来何に使うかを考え、計画的に貯蓄する態度を身につける ○主な預金商品を知り、利息の違いについて理解する ○金利計算(単利)ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ○株や債券について理解する ○お金を投資する意義について考える ○リスクとリターンとの関係について理解する ○期間と金利の関係(複利計算)を知り、継続して貯蓄に取り組む態度を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ○預金、株式、債券、保険等、様々な金融商品の内容を理解する ○金融商品のリスクとリターンについて理解する ○資金運用のバランスを考え、自己責任で選択する意識をもつ ○投資と投機の違いを考える
	<ul style="list-style-type: none"> ○将来を考え金銭を計画的に使うことの大切さを理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活設計の必要性を理解し、自分の価値観に基づいて生活設計を立ててみる ○よりよい生活を築くための工夫について考える ○ローンのしくみと機能について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活設計を立て、生涯収入、支出の内容を把握する ○ローンのしくみを理解し、返済方法や金利について考える ○年金や社会保障制度を理解する ○景気や経済政策と暮らしとの関係を理解する ○職業選択と生活設計を関連づけながら将来の姿を現実的に描き、なりたい自分との関係を考える
	<ul style="list-style-type: none"> ○暮らしを通じてお金の様々な役割を理解する ○銀行の基本的機能について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○お金の役割を整理して理解する ○金融機関の種類と機能について理解する ○中央銀行の機能について理解する ○銀行の決済機能について理解する ○各種カードの種類、機能、しくみを理解する ○金利のきまり方を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○お金の役割を理論的に把握する ○決済機能の多様化について理解する ○間接金融、直接金融について理解する ○金利の機能と変動の理由について理解する ○中央銀行の機能について理解を深める ○電子マネー、地域通貨等について理解する ○金融の自由化と自分の暮らしとの関係を理解する
	<ul style="list-style-type: none"> ○家計、企業、政府、銀行の間のもものやお金のやりとりについて理解する ○ものの値段がどうして変わるのかを理解する ○企業はお金を借りて投資を行っていることを理解する ○海外との間のもものやお金のやりとりについて理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○家計、企業、金融機関、政府、海外の間のもものやお金の流れを理解する ○市場経済の意義を理解する ○円高・円安の意味と生活への影響を理解する ○株式会社の機能と役割、社会的責任について理解する ○企業が行う様々な資金調達方法について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○家計、企業、金融機関、政府、海外の間のももの、お金の流れの全体図を描く ○商品市場、金融市場、証券市場、為替市場の働きと機能を理解する ○企業の成立、存在意義、社会的機能について理解する ○経済のグローバル化について理解する
	<ul style="list-style-type: none"> ○景気変動すると暮らしや社会がどうなるかを理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○経済が変動する理由を理解する ○経済変動とマクロ諸指標の関係を理解する ○中央銀行が行う金融政策について理解する ○政府の景気対策について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○経済変動のマクロ的なメカニズムを整理して理解する ○中央銀行の金融政策についてその手段や狙いを理解する ○政府の景気対策と財政赤字について理解する
	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の暮らしと関連づけながら社会で起こっている問題に関心をもつ ○税金の種類とその意義について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○新聞を読む習慣を身につける ○経済・社会の課題について幅広く関心をもつ ○歳入・歳出両面から政府の役割を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○関心ある課題について情報を収集し、深く理解する ○課題の解決に向けて、自ら合理的、主体的にかかわる態度を身につける ○経済社会の課題解決に向けて政府が行うべき施策について考える ○生きたお金の使い方について考える

目 標	小学生	
	低学年	中学年
自立した消費者	<ul style="list-style-type: none"> ○消費者の権利と責任を自覚する ○自立した消費者として行動できる態度を身につける ○情報を収集し適切に活用することができる技能を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ○不良品に注意する ○安全や環境に配慮した消費生活の大切さに気づく
金融トラブル・多重債務	<ul style="list-style-type: none"> ○金融トラブルや多重債務の実態を知り、巻き込まれない態度を身につける ○法律や制度を活用して事態に対処できる技能を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ○困った時の対処方法や相談の仕方を身につける
健全な金銭観	<ul style="list-style-type: none"> ○欲望を制御する意味を理解し、日常生活の中で実践する態度を身につける ○お金との付き合い方について日頃から考える態度を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ○欲しい物をすべて手に入れることはできないことを知る ○物を大切に使う習慣を身につける ○お金の使い方を通じ節度ある生活の大切さに気づき、実践する
働く意義と職業選択	<ul style="list-style-type: none"> ○勤労の意義とお金の価値の重さを理解する ○自分の職業選択について主体的に考える態度を身につける ○労働者の権利と義務について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○働く人々の素晴らしさに気づく ○家の手伝いをする ○栽培活動等を通して勤労のつらさとお金の価値の重さを理解する
生きる意欲と活力	<ul style="list-style-type: none"> ○付加価値を生み出すために様々な努力が必要であることを理解する ○付加価値の創造が経済社会発展の原動力であることを理解する ○自らの夢を描き実現に向けて努力する態度を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ○お店の人の工夫や努力に気づく ○お店の人の願いを知り、様々な苦労や工夫をしていることに気づく
社会への感謝	<ul style="list-style-type: none"> ○社会との様々なつながりを理解し、ルールを守り、他人に感謝する心を養う ○よりよい社会を築くために何ができるかを考え実行する態度を養う 	<ul style="list-style-type: none"> ○友だちと協力して活動することの大切さに気づく ○家の手伝いや係活動を通じて自分の役割を自覚する ○約束を守ることの大切さに気づく ○自分の仕事に責任をもち、最後までやりとげる態度を養う ○生活を支えている人々に尊敬と感謝の気持ちをもつ ○ルールを守ることの大切さを理解する

(出所) 金融広報中央委員会『金融教育プログラム ― 社会の中で生きる力を育む授業とは ―』(図表5) 再掲。

	小学生 高学年	中学生	高校生
	<ul style="list-style-type: none"> ○情報を活用して選択できる能力を身につける ○消費生活センターの役割を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ○契約の基本を理解する ○消費者基本法を通じて消費者の権利や義務について知る ○製造物責任について理解する ○環境や社会に配慮した消費生活ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ○契約の意味と留意点および自己責任について理解する ○消費者契約法について理解する ○個人情報の保護について理解する ○情報を収集し、自分の消費生活に活用できる技能を身につける
	<ul style="list-style-type: none"> ○小学生が巻き込まれる金融トラブルの実態について知る ○子ども同士でお金の貸し借りはしない 	<ul style="list-style-type: none"> ○クレジットカードの使用上の留意点について学ぶ ○インターネット、携帯電話によるトラブル事例を学び、予防の仕方を理解する ○悪質商法や詐欺商法を見分け、被害に遭わないようにすることを学ぶ ○金利計算能力を身につけ、金利の重さを理解する ○クーリング・オフについて知る ○トラブルに遭ったときの相談窓口を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ○トラブルに対処する具体的方法を学び、実際に行使できる技能を養う ○各種カードの役割や機能と使用上の留意点を学ぶ ○多重債務に陥った人の現状を知り、安易な借入を避ける ○金利の高さとローン返済額との関係を実感をもって知り、金利の重さを理解する ○多重債務の相談窓口を知り、相談できる
	<ul style="list-style-type: none"> ○お金のトラブルは家族に迷惑をかけることを知る ○お金の使い方は人によって様々であることを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ○少ないお金でも幸せに暮らしている人を知り、その価値観を考える ○伝記や小説を通じて先人の生き方や金銭観について考える ○社会で起きる事件や犯罪とお金との関連について考える 	<ul style="list-style-type: none"> ○個々人の金銭観と社会のあり方との関係について考える ○お金の願いや思いを込めて使う態度を身につける
	<ul style="list-style-type: none"> ○勤労の大切さと金銭を得ることの苦労が分かる ○働くことを通じて社会に役立っていることを理解する ○自分の長所・短所を考え、将来つきたい職業に関心をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ○労働と賃金の関係を知る ○職業体験などを通じて、勤労を実感し、つきたい職業について考え、情報を収集する ○勤労の意義と社会における役割を理解する ○ニートやフリーターについて考える ○労働者の権利について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路選択を通じて具体的に職業選択について考える ○自分の選んだ職業とその社会的意義について考える ○働き方によって生涯所得に大きな差が生じることを理解する ○働く者の権利を理解するとともに、働く者として義務を果たす態度を身につける
	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の人々や会社がどのような夢をもち、どのような努力や工夫をしているかを理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○将来の夢や希望をもち、その実現に向け何が必要かを知り、努力する態度を身につける ○会社づくりのシミュレーションを通じ、会社経営のしくみや工夫、努力の必要性を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○将来の夢を実現するための現実的なステップや手段を考え、なすべき努力を実践する ○起業を考え、それに必要な知識と実践的な企画を考える ○会社経営において付加価値を高める方法を理解する
	<ul style="list-style-type: none"> ○みんなで協力して働くことの大切さを理解する ○お金にはならない活動(ボランティア等)を通じてその意義に気づく ○法律を守る意識をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活を支えてくれる対象に幅広く視野を広げ(親、社会、海外、自然環境等)、感謝の気持ちをもつ ○社会貢献の様々なあり方(勤労、ボランティア、寄付等)について考え、実践する態度を身につける ○法やルールを守ることと社会の秩序との関係について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○よりよい社会を展望し、それに向けて必要なこと、自分がなすべきことを考え、実行する ○企業の社会的責任と社会貢献のあり方について、自分の職業選択と関連づけて考える ○法やルールを遵守することは市場経済が十分機能する上でも重要であることを理解する